

# ルポ TS型配水管内面洗浄で濁水解消

福山市  
水道局

福山市水道局はこのほど、「TS型配水管内面洗浄工法」を採用した。洗浄ヘッドのブラシが高速回転して、一定速度で強制的に夾雑物などを除去し、管内面を洗浄する工法で、濁水問題の解消などを図る。同市では老朽化した塩ビ・ダク管とダクタイル鉄管（いずれもφ100）を対象に、1日ずつ作業を行い、いずれも安定した成果が得られた。今後も管路の長寿命化対策の一環として、計画的な採用を検討したいとしている。

平成21年度末における同市の配水管延長は約2800キで、このうち約57%が塩ビニ

平本課長

ル管。老朽化も進んでおり、今後更新対象となる管路は、年間約1000キ前後が見込まれている。

ただ、同市における老朽配水管の更新延長は現在、年間約400キ。このため、配水管の状

一定の成果を得ていることを知り、現地視察を行った。

また、炭酸ガスや高圧水など他の洗浄方法も比較検討した結果、施工性などを考慮し、「TS型配水管内面洗浄工法」を採用することとした。

そこで、同市は対応を協議。名古屋市などが「TS型配水管内面洗浄工法」を採用し、

## ブラシで夾雑物を除去 塩ビ・ダク管で安定成果

形・内面モルタルライニング・φ100・延長2200キ・昭和53年布設。

①は3月

8日午後10

時に断水開

始。消火栓

2カ所から

東西方向に

2班同時に

洗浄して、

継手部の堆

積物や夾雑

物などを除

去後、翌9

日午前4時

に順次開栓

し、午前5時前に洗浄

を完了した。

②は3月9日午後10

時に断水開始。消火栓

1カ所から南北方向に洗浄して、劣化シールコートなどを除去後、翌10日午前2時半に順次開栓し、午前4時前に洗浄を完了した。

い

ずれも6〜7時間

の断水で、全ての作業

が計画通りの時間内に

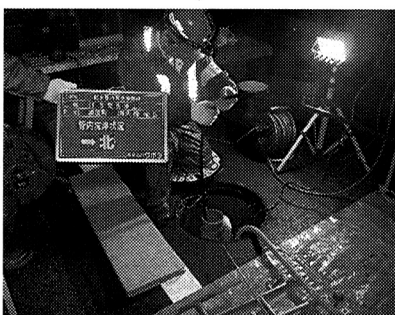
終了した。

平本英夫・同市水道

「TS型配水管内面

局工務部配水課長は「管内面の夾雑物などが排出・除去され、洗浄完了後の苦情も皆無だった。今後も濁水発生の際に『TS型配水管内面洗浄工法』を採用し、計画的な取り組みも検討したい」と話している。

洗浄工法」は、管路リフレッシュ工法研究会が推進し、対象口径はφ75〜300、対象管種はダクタイル管・塩化ビニル管・鋼管。掘削・管切断が不要で、夜間断水で管洗浄ができる工法として、注目を集めている。



管内洗浄の様子



計画時間内に洗浄終了